

【3回目以降】テセントリク(30分)+Avastin(30分)+ パクリタキセル(PTX)+カルボプラチン(CBDCA)療法

【呼吸器科】98【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

■エンボス

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	
テセントリク	↓	休薬	休薬	
アバスタチン	↓	休薬	休薬	
パクリタキセル	↓	休薬	休薬	
カルボプラチン	↓	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	内容	時間
①	生食 50mL	10分
②	●テセントリク【 】mg 生食 250mL	30分
③	生食 50mL	10分
④	●アバスタチン【 】mg 生食 100mL	30分
※⑤	5%ブドウ糖 250mL 同時に側管より 内服薬レスタミン10mg 5T アロカリス注235mg 1V デキサート注6.6mg 1V デキサート注1.65mg 2A ガスター注20mg 1A グラニセロンバッグ 100mL	1時間 30分
※⑤		
※⑤		
⑥	●パクリタキセル【 】mg 5%ブドウ糖 500mL	3時間
⑦	●カルボプラチン【 】mg 5%ブドウ糖 250mL	1時間
⑧	生食 50mL	10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
テセントリク	1200mg/body	
アバスタチン	15 mg/kg	mg/Body
パクリタキセル	175 mg/m ²	mg/Body
カルボプラチン	AUC=6	mg/Body

入力薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
- 致死性の喀血等重篤な副作用が起こることがある。
- アバスタチンは喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者は禁忌、脳転移を有する患者は原則禁忌である。
- アバスタチンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。
- 2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- アバスタチンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバスタチンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバスタチンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
- パクリタキセル投与中はアレルギー発現に注意すること。特に投与開始10分以内は頻回に観察すること。
- 過敏症予防の前投薬を終了して30分以上経っているのを確認してからパクリタキセルを投与すること。